



操作説明書

Z-34/22

Z-34/22N

DC Power

メンテナンス
情報付き

英語版操作説明書の翻訳
Sixth Edition
First Printing
Part No. 1258814JA

重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されます。本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。質問がございましたら Genie までご連絡ください。

目次

	ページ
安全規則	1
操作パネル	10
説明	12
操作前の点検	13
保守	15
機能テスト	18
作業場の点検	23
操作手順	24
輸送およびリフトの手順	31
ステッカー	34
仕様	38

お問合せ先：

インターネット：<http://www.genielift.com>
電子メール：awp.techpub@terex.com

Copyright © 1996 Genie Industries

第 6 版： 初刷、2014 年 7 月

「Genie」および「Z」は、米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。

CE EC の公式指示 2006/42/EC に準拠しています。
EC 適合宣言を参照してください。

♻️ 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

安全規則



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、死亡または重傷事故の原因となることがあります。

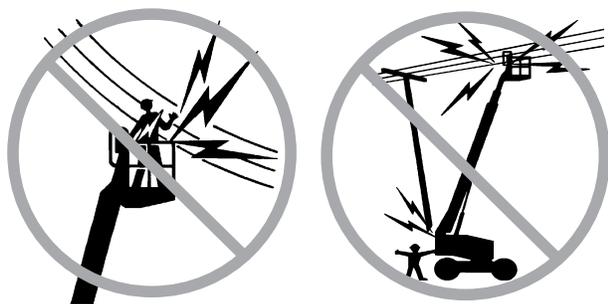
操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
 - 1 危険な状態での使用を避ける。
次のセクションに進む前に、安全規則をよく理解してください。
 - 2 常に操作前の点検を行う。
 - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
 - 4 作業場を点検する。
 - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。
- ☑ 製品取扱説明書と安全規則 – 安全規則および操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。
- ☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。
- ☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。
- ☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

安全規則

感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

電圧 範囲	最小安全 最短距離 メートル
0 ~ 300V	接触を避ける
300V ~ 50KV	3.05
50KV ~ 200KV	4.60
200KV ~ 350KV	6.10
350KV ~ 500KV	7.62
500KV ~ 750KV	10.67
750KV ~ 1000KV	13.72

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮し、強風および突風に注意してください。

通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が遮断されるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

溶接するとき、機械をアースとして使用しないでください。

転倒の危険

作業員、装備、および機材の重量は作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

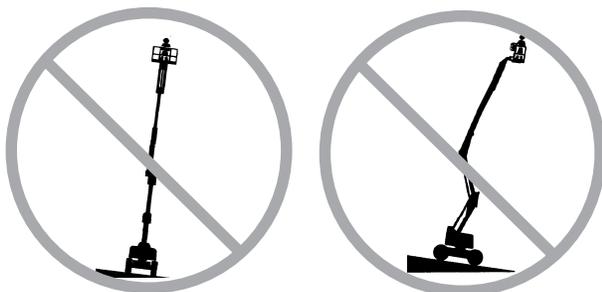
作業台最大積載荷重量	227 kg
作業台最大積載荷重量	
航空機保護パッケージ 搭載の機械	200 kg
最大作業員数	2 名

定格作業台最大積載荷重量には、パイプクレードル、パネルクレードル、溶接機などのオプションや付属品の重量が含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量は小さくなります。これらのオプションに関しては、ステッカーを参照してください。

安全規則

CE およびオーストラリア市場：空気タイヤを使用しないでください。これらの機械はフォームタイヤを装備しています。安定性を保つには、タイヤ重量および適切なカウンターウェイトの構成が不可欠です。

機械を固い水平な地面に設置している場合以外は、ブームを上昇もしくは延長しないでください。



水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

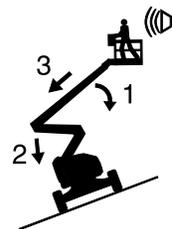
ブームが下降しているときに傾斜アラームが鳴った場合には、ブームを水平より高く延長、旋回、あるいは上昇させないでください。作業台を上昇させる前に、機械を固い水平な地面に移動してください。

ANSI, CSA および AUS モデル：作業台が上昇しているときに傾斜アラームが鳴った場合: 細心の注意を払います。斜面上におけるブームの状態が、以下のどれに当てはまるかを判断してください。安定した固い水平な地面に移動する前に、手順に従ってブームを下げてください。作業台の下降中は、ブームを旋回しないでください。

CE モデル：作業台が上昇しているときに傾斜アラームが鳴る場合には、細心の注意を払ってください。機械の非水平表示ランプが点灯し、一方向または両方向への走行機能は作動しません。斜面上におけるブームの状態が、以下のどれに当てはまるかを判断してください。安定した固い水平な地面に移動する前に、手順に従ってブームを下げてください。作業台の下降中は、ブームを旋回しないでください。

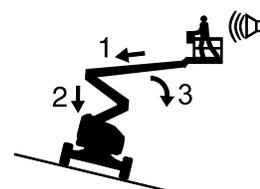
すべてのモデル：作業台が上り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、次の操作を行います。

- 1 主ブームを下降します。
- 2 補助ブームを下降します。
- 3 主ブームを収縮します。



作業台が下り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

- 1 主ブームを収縮します。
- 2 補助ブームを下降します。
- 3 主ブームを下降します。



安全規則

リミットスイッチを改造したり、使用不能な状態にしないでください。

主ブームを上げているまたは伸長している状態、あるいは補助ブームが上がっている状態では、時速 1 km を超える速度で走行しないで下さい。

近くの構造物に挟まったり、引っ掛かったりして、通常の運行を妨げられている作業台を作業台操作を使用して解放しようとししないでください。作業員が作業台から降りた後に、地上操作を使用して作業台を解放してください。

風速が秒速 12.5m を超える場合、ブームを上昇しないでください。秒速 12.5m 以上の風速のもとでブーム上昇している場合は、ブームを下降し、機械の操作を中止してください。

強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風に当たる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。



収納した状態で平らでない場所、障害物のある場所、不安定な場所、または滑りやすい場所で走行しているとき、または、くぼみや急に低くなっている場所の近辺で走行しているときは、細心の注意を払うとともに機械を減速してください。

平らでない不安定な地面、またはその他の危険がある状況では、ブームを上昇したあるいは延長した状態で機械を走行しないでください。

機械の最大上り、下りおよび横勾配の定格値を超える斜面では、機械を走行しないでください。定格勾配は、機械が収納状態の場合にのみ適用されます。

Z-34/22N、最大勾配の定格値、収納状態

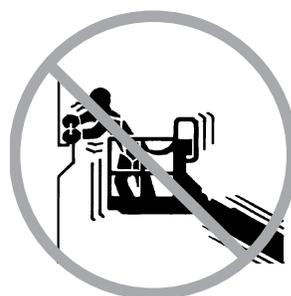
カウンターウェイト上がり傾斜	35%	19°
カウンターウェイト下り勾配	20%	11°
横勾配	25%	14°

Z-34/22 DC、最大勾配の定格値、収納状態

カウンターウェイト上がり傾斜	30%	17°
カウンターウェイト下り勾配	20%	11°
横勾配	25%	14°

注記：定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

作業台の外側の物体を押したり、引っ張ったりしないでください。



最大許容側方圧力 -
ANSI & CSA 667 N

最大許容外圧 - CE
400 N

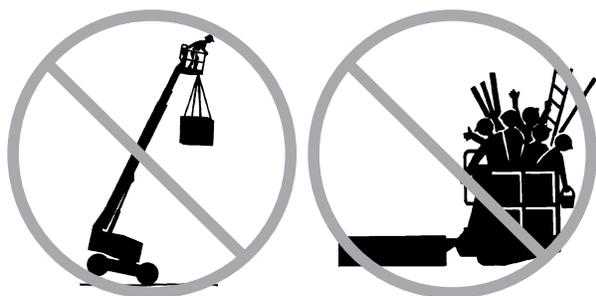
安全規則

機械の部品を改造したり、使用不能な状態にしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

製造元の書面による事前の許可なしに、高所作業台を変更、または改造しないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、または手摺りに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。

機械から張り出した状態で荷物を配置したり取り付けたりしないでください。



はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤの状態がすべて良好であり、ラグナットが適切に締められていることを確認してください。

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーを使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ最低 40 kg でなければなりません。バッテリーを含めた各バッテリーボックスの重量は最低 205 kg でなければなりません。

機械をクレーンとして使用しないでください。

機械や他の物体をブームで押さないでください。

ブームを近辺の建造物に接触させないでください。

ブームや作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

安全規則

落下の危険



作業員は安全ベルトやハーネスを着用し、適用される法規に従わなければなりません。荷締めを作業台の錨に取り付けてください。

作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。

作業台が上昇している状態で、作業台から降りないでください。

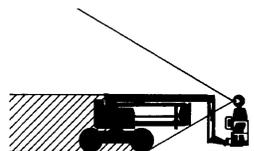


作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

機械が作業台を収納した状態で、作業台が地上にある場合以外は、作業台に出入りしないでください。

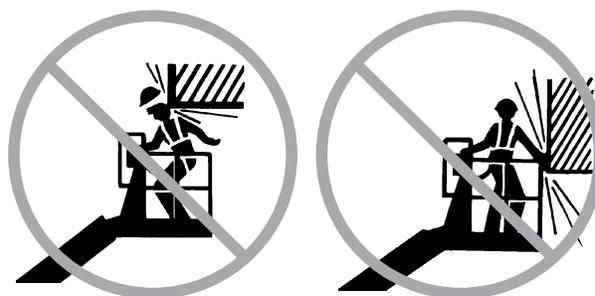
衝突の危険



走行中または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

ターンテーブルを旋回しているときは、ブームの位置に注意してください。

作業場において、頭上に障害物または他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

安全装備の使用に関して、作業員は従業員規則、作業現場の規則、および法規に従う必要があります。

走行や操舵機能を使用する際は、作業台操作および走行シャーシの色分けされた方向矢印をよく見てください。

安全規則

ブームを下げる場合は、下に人がいないこと、および障害物になるものがないことを確かめてください。



路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものに従って、走行速度を制限してください。

クレーンの軌道内においてブームを操作する場合は、必ずクレーンの制御をロックし、衝突を防ぐための予防措置を講じてください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

部品損傷の危険

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

機械故障の危険

損傷または故障している機械は使用しないでください。

作業シフトを始める前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷または故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書と *Genie Z-34/22* および *Genie Z-34/22N* サービスマニュアルに記載されているすべての保守作業を必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。

安全規則

人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

カバー下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、作業前の点検を行うときのみこれらのコンパートメントにアクセスしてください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報シンボル—作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。



赤—差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ります。



オレンジ—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至る可能性があります。



安全上の警告シンボルを伴った黄色—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。



安全上の警告シンボルがない黄色—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

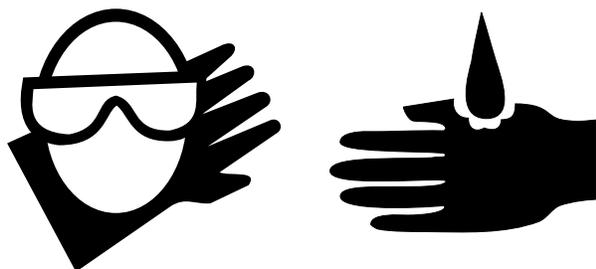


緑—操作方法または保守に関する情報を示します。

バッテリーの安全管理

やけどの危険

バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。



バッテリー液をこぼしたり液に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

バッテリーパックは常に直立した状態に維持してください。

バッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

バッテリーパックのカバーは、充電のすべてのサイクルが終了するまで取り外しておいてください。

バッテリー端子またはケーブル用クランプに金属製の工具で触れると火花を発生することがあります。工具を使用するときは、接触させないように注意してください。

部品の損傷の危険

バッテリーの充電には、48V 以上の充電器を使用しないでください。

バッテリーパックは必ず両方一緒に充電してください。

バッテリーパックを取り外す前に、バッテリーパックプラグを外してください。

感電の危険



充電器は、接地されている AC 3 ピン電気コンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブルおよび配線の損傷を毎日点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

バッテリー端末への接触による感電に注意してください。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

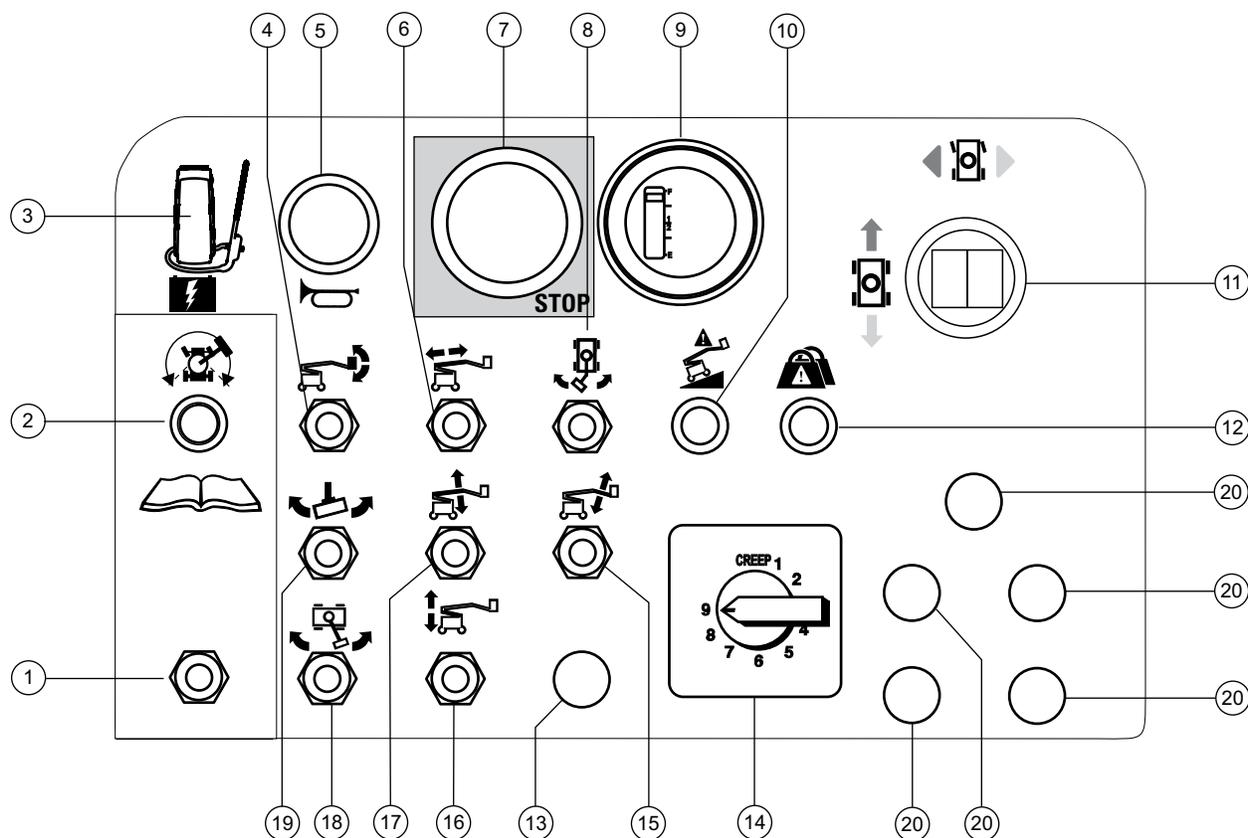
転倒の危険

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーを使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ最低 40 kg でなければなりません。バッテリーを含めた各バッテリーボックスの重量は最低 205 kg でなければなりません。

持ち上げ時の危険

バッテリーパックの取り外しや取り付けを行う場合は、フォークリフトを使用してください。

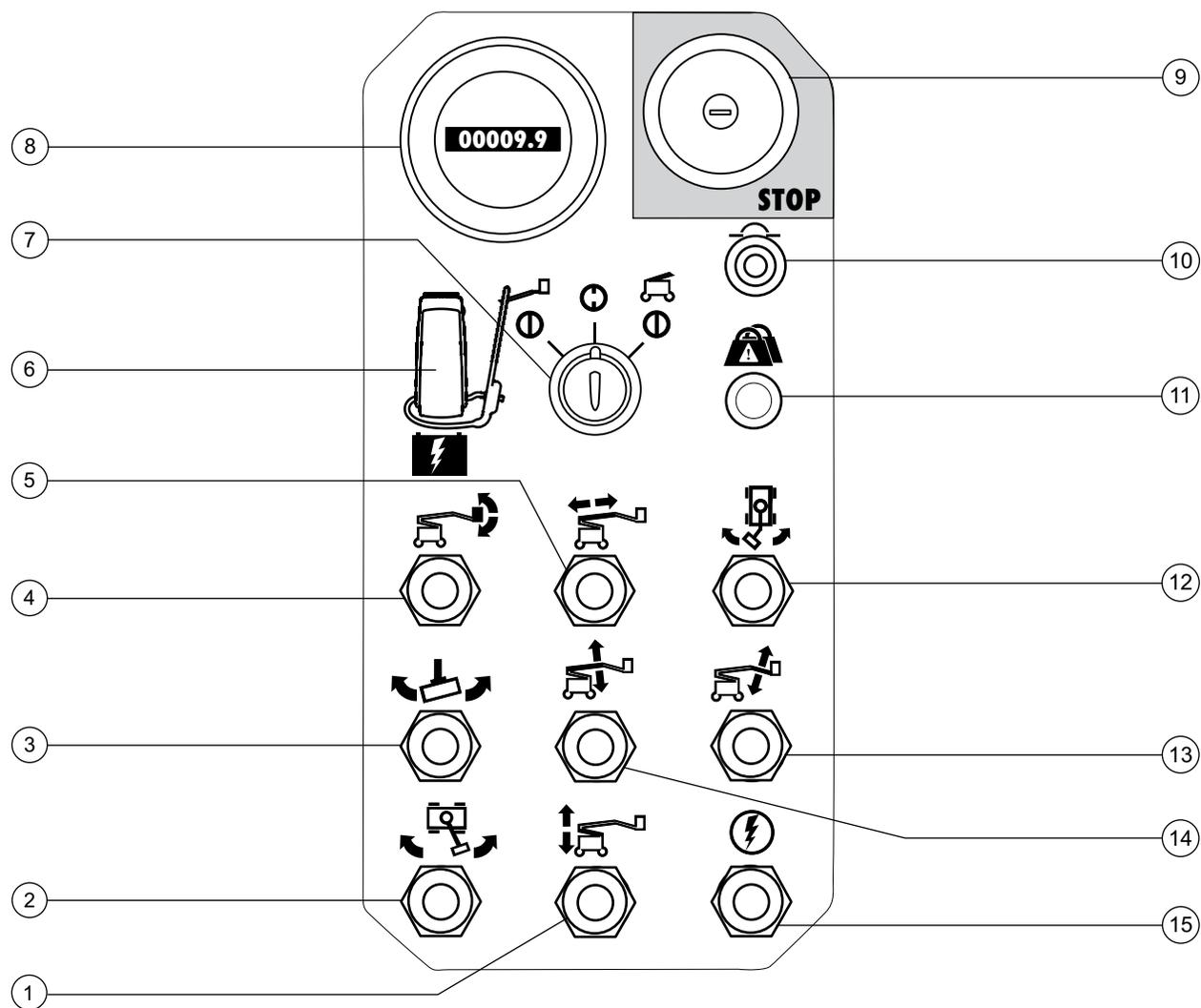
操作パネル



作業台操作パネル

- | | |
|---|--|
| 1 走行機能スイッチ | 10 傾斜表示ランプ（搭載されている場合） |
| 2 走行機能表示ランプ | 11 走行機能用比例コントロールハンドルおよび操舵機能用サムロッカースイッチ |
| 3 ANSI/CSA/AUS モデル：補助動力スイッチ
CE モデル：カバー付き補助動力スイッチ | 12 作業台過負荷表示ランプ（搭載されている場合） |
| 4 作業台水平スイッチ | 13 非使用 |
| 5 ホーンボタン | 14 ブーム機能速度コントローラ |
| 6 主ブーム延長/収縮スイッチ | 15 ジブブーム上昇/下降スイッチ |
| 7 赤色非常停止ボタン | 16 補助ブーム上昇/下降スイッチ |
| 8 機能優先 - 航空機保護パッケージ（搭載されている場合） | 17 主ブーム上昇/下降スイッチ |
| 9 バッテリー充電表示器および（あるいは）低圧遮断（オプション） | 18 ターンテーブル旋回スイッチ |
| | 19 作業台旋回スイッチ |
| | 20 非使用 |

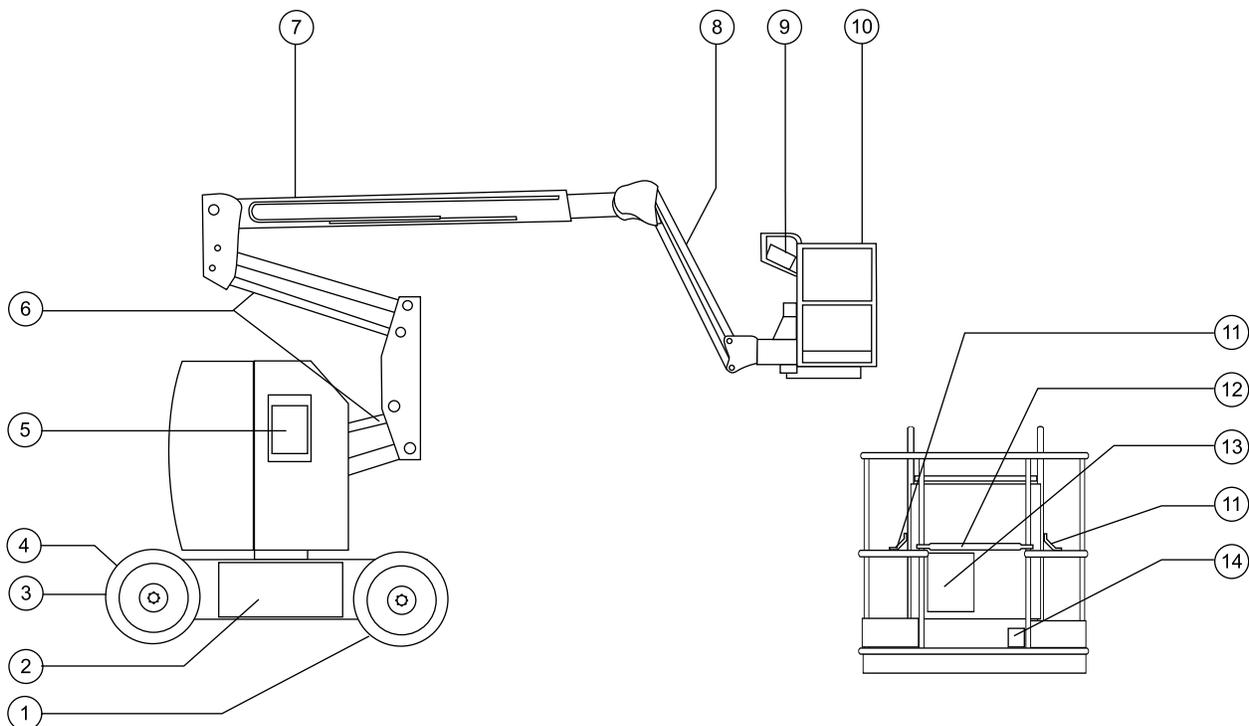
操作パネル



地上操作パネル

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 補助ブーム上昇/下降スイッチ | 8 時間計 |
| 2 ターンテーブル旋回スイッチ | 9 赤色非常停止ボタン |
| 3 作業台旋回スイッチ | 10 電気回路用 10A ブレーカー |
| 4 作業台水平スイッチ | 11 作業台過負荷表示ランプ (搭載されている場合) |
| 5 主ブーム延長/収縮スイッチ | 12 非使用 |
| 6 ANSI/CSA/AUS モデル: 補助動力スイッチ
CE モデル: カバー付き補助動力スイッチ | 13 ジブブーム上昇/下降スイッチ |
| 7 作業台/オフ/地上操作選択用キースイッチ | 14 主ブーム上昇/下降スイッチ |
| | 15 機能作動スイッチ |

説明



- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 非操舵輪 | 10 作業台 |
| 2 バッテリーボックス | 11 安全帯固定箇所 |
| 3 操舵輪 | 12 スライド式中間レール |
| 4 充電器への電力（操舵側のタイヤ間） | 13 マニュアル保管場所 |
| 5 地上操作パネル | 14 ペダルスイッチ |
| 6 補助ブーム | |
| 7 主ブーム | |
| 8 ジブブーム | |
| 9 作業台操作パネル | |

操作前の点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
 - 1 危険な状態での使用を避ける。
 - 2 常に操作前の点検を行う。
次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。
 - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
 - 4 作業場を点検する。
 - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作前の点検と規定保守はオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが行う目視点検です。この点検はオペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定保守作業が必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定保守項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目を確認してください。

損傷または工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。修理完了後、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが文字が読める状態で、所定の位置あることを確認してください。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- ❑ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックしてください。必要に応じてオイルを補充してください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックしてください。必要に応じて蒸留水を補充してください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ Z-34/22：タイヤの空気圧が適切であることを確認します。必要に応じて空気を入れてください。「保守」のセクションを参照してください。

以下の部品または部分が損傷していたり、適切に設置されていなかったり、なくなっている部品または不正に改造されていないかを確認してください。

- ❑ 電気部品、配線および電気ケーブル
- ❑ 油圧ユニット、タンク、ホース、フィッティング、シリンダーおよびマニホールド
- ❑ 走行とターンテーブルのモータ、および走行ハブ
- ❑ ブーム磨耗板
- ❑ タイヤおよびホイール
- ❑ リミットスイッチ、アラームおよびホーン
- ❑ ナット、ボルトおよび他の締め具
- ❑ 作業台出入口中間レールバーまたはゲート
- ❑ ビーコンおよび警報（搭載する場合）
- ❑ 安全帯固定場所

機械全体に対して下記を確認します。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみや損傷
- ❑ 機械を構成するどの部品も欠けておらず、適切なファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態になっていることを確認します。
- ❑ 両方のバッテリーパックが所定の位置に設置され、ラッチで留められていて、適切に接続されていることを確認します。
- ❑ 点検の終了後、コンパートメントのすべてのカバーがしっかりと閉められ、ラッチで留められていることを確認します。

保守



必ず以下に従うこと。

- ☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定保守項目のみを行います。
- ☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。
- ☑ 法規に従って、適切に廃棄してください。

メンテナンス記号の説明

注意

以下の記号は、指示の目的を分かりやすくするために使用されています。保守手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。



この手順を行うためには、工具が必要です。



この手順を行うためには、新しい部品が必要です。

作動油量の点検



作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日確認することにより、作動油量の変化に気づき、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

- 1 ブームが収納位置にあることを確認します。
- 2 作動油量を点検します。
- ③ 結果：作動油の量は、油圧タンクの FULL（満タン）と ADD（追加）のマークの間を指している必要があります。
- 3 必要に応じて作動油を追加します。

作動油の仕様

作動油タイプ

Chevron Rando HD
Premium MV と同等のもの

保守

バッテリーの点検



バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続部分の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招く可能性があります。

▲ 警告 感電やけどの危険熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至る可能性があります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

▲ 警告 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリー液をこぼしたり液に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注意 このテストはバッテリーを完全に充電した後に行ってください。

- 1 保護服と保護メガネを着用してください。
- 2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

標準バッテリー

- 3 バッテリー通気孔のキャップを外します。
- 4 バッテリー液の量を確認します。必要に応じてバッテリー チューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。
- 5 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

タイヤ空気圧の点検



注意 この手順は、フォームタイヤまたはソリッドタイヤを装備している機械では必要ありません。

▲ 警告 人体への傷害の危険。タイヤの空気圧を高くしすぎると破裂するおそれがあり、重傷を負ったり死に至る場合があります。

▲ 警告 転倒の危険。パンク修理剤を使用してタイヤを一時的に補修しないでください。

機械の安定性を保ち、最適な条件のもとで機械を使用し、タイヤの消耗を最小限に抑えるためには、すべてのタイヤの空気圧を適切に保持することが大切です。

- 1 各タイヤを空気圧計でチェックして、必要に応じて空気を足してください。

タイヤ空気圧

工業用タイヤ	6.89 バール
--------	----------

定期保守点検

四半期ごと、1年ごと、2年ごとに行われる保守点検は、本機械の保守トレーニングを受け認定されている担当者が本機械のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機能テスト



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

- 1 危険な状態での使用を避ける。
- 2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

- 4 作業場を点検する。
- 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。

修理の完了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

- 1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した平坦な場所を選びます。

地上操作パネル

- 2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。
- 3 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。
- ◎ 結果：ビーコンが点滅します（搭載されている場合）。

非常停止のテスト

- 4 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。
- ◎ 結果：地上操作と作業台操作のすべての機能が作動しません。
- 5 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

機能テスト

ブーム機能のテスト

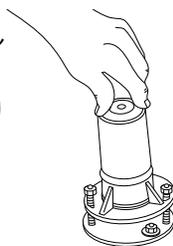
- 6 機能作動スイッチを、いずれかの側に押したままにしないようにします。各ブームおよび作業台の機能トグルスイッチが作動するか試します。



- ⊙ 結果：ブームと作業台のすべての機能は作動しません。
- 7 機能作動スイッチをどちらか一方の側に押したまま、ブームと作業台の各機能トグルスイッチが作動するか試します。
- ⊙ 結果：ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。ブームが下降しているときには下降アラームが鳴ります（搭載されている場合）。

傾斜センサーのテスト

- 8 作業台の赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。
- 9 地上操作側のターンテーブルカバーを開いて、機能マニホールドの隣にある傾斜センサーを見つけてください。
- 10 傾斜センサーの片側を下に押しします。
- ⊙ 結果：作業台のアラームが鳴ります。



作業台操作

- 11 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。
- 12 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。
- ⊙ 結果：ビーコンが点滅します（搭載されている場合）。

非常停止のテスト

- 13 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。
- ⊙ 結果：作業台操作の機能は何も作動しません。

機能テスト

ホーンのテスト

14 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

15 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果：ホーンが鳴ります。

ペダルスイッチのテスト

16 ペダルスイッチを踏まないでください。機械の各機能を作動します。

⊙ 結果：機械の機能は作動しません。

機械機能のテスト

17 ペダルスイッチを踏みます。

18 機械の各機能のトグルスイッチを作動します。

⊙ 結果：ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。

注記：ブーム機能速度コントローラーを調節して、ブーム機能の速度を制御できます。走行およびステアリング機能は、ブーム機能速度コントローラーに影響されません。

操舵のテスト

19 ペダルスイッチを踏みます。

20 走行コントロールハンドルの先端にあるサムロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押し下げます。

⊙ 結果：操舵輪が走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。

21 サムロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押し下げます。

⊙ 結果：操舵輪が走行シャーシ上の黄色い三角が示す方向に回ります。

機能テスト

走行およびブレーキのテスト

- 22 ペダルスイッチを踏みます。
- 23 走行コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に、機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。
- ◎ 結果：移動アラームが鳴ります。機械が走行シャーシの青色矢印の方向に動き、急停車します。
- 24 走行コントロールハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に、機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。
- ◎ 結果：移動アラームが鳴ります。機械が走行シャーシの黄色矢印の方向に動き、急停車します。

注記：ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止めることができなければなりません。

制限走行速度のテスト

- 25 ペダルスイッチを踏みます。
- 26 主ブームを 30 cm 上げます。
- 27 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。
- ◎ 結果：主ブームが上昇した状態での最大走行速度は 30 cm 秒を越えてはいけません。
- 28 ブームを収納位置まで下降します。
- 29 補助ブームを 30 cm 上昇します。
- 30 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。
- ◎ 結果：補助ブームが上昇した状態での最大走行速度は 30 cm 秒を越えてはいけません。
- 31 ブームを収納位置まで下降します。
- 32 主ブームを 30 cm 延長します。
- 33 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。
- ◎ 結果：主ブームを伸長した状態での最大走行速度は 30 cm 秒を越えてはいけません。
- 主ブームが上昇あるいは延長した状態、あるいは補助ブームが上昇した状態での走行速度が 1 秒間に 30 cm を超える場合は、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

機能テスト

走行機能システムのテスト

34 ペダルスイッチを踏み、主ブームを収納位置まで収縮します。

35 ブームが非操舵輪の 1 つを越えるまで、ターンテーブルを旋回します。

- ◎ 結果：走行機能表示ランプが点灯し、ブームが示された範囲にある間、点灯を続けます。



36 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かします。

- ◎ 結果：走行機能は作動しません。

37 走行機能トグルスイッチを上か下にしたまま、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

- ◎ 結果：走行機能が作動します。

注記：走行機能システムを使用の際、走行および操舵コントロールハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動く場合があります。

作業台操作および走行シャーシの色分けされた矢印で進む方向を確認してください。

リフト/走行選択機能のテスト
(搭載されている場合)

38 ペダルスイッチを踏みます。

39 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かし、ブーム機能トグルスイッチを作動させます。

- ◎ 結果：ブーム機能は何も作動しません。機械は、操作パネル上で示した方向に動きます。

作業場の点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

- 1 危険な状態での使用を避ける。
- 2 常に操作前の点検を行う。
- 3 使用する前に常に機能テストを行う。
- 4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

- 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、設置、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください。

- ・ 急に低くなっているところ、またはくぼみ
- ・ でこぼこした道、床の障害物または破片
- ・ 傾斜面
- ・ 不安定または滑りやすい地面
- ・ 頭上の障害物および高圧送電線
- ・ 危険な場所
- ・ 機械の重量に耐えられない不適切な地面
- ・ 風や天候の状態
- ・ 関係作業員以外の人物の存在
- ・ その他、起こりうる危険な状態

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
 - 1 危険な状態での使用を避ける。
 - 2 常に操作前の点検を行う。
 - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
 - 4 作業場を点検する。
 - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されなければなりません。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、オペレータの安全および責任に関するマニュアルの安全規則と手順にすべて従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

非常停止

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能を停止します。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動している機能は、修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、地上操作が優先されるため、作業台の赤色非常停止ボタンは使用できません。

補助制御

主電源が停止した場合に、補助動力を使用してください。

- 1 機械の操作前に両方のバッテリーパックが接続されていることを確認します。
- 2 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。
- 3 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。
- 4 作業台から補助制御を操作する場合は、ペダルスイッチを踏みます。
- 5 CE モデル：安全紐を外して、カバーを持ち上げます。

注記：安全紐が破損している、または見つからない場合には、Genie サービスマニュアルを参照してください。

- 6 補助動力スイッチをオンにしたまま、必要な機能を作動させます。

ブーム、ステアリング、走行機能は補助動力で作動します。



地上からの操作

- 1 機械の操作前に両方のバッテリーパックが接続されていることを確認します。
- 2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。
- 3 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

作業台を位置につける

- 1 機能作動スイッチを、どちらか一方に押したままにします。
- 2 操作パネルのマークに従って、適切なトグルスイッチを動かします。



走行と操舵機能は地上操作から操作できません。

作業台からの操作

- 1 機械の操作前に両方のバッテリーパックが接続されていることを確認します。
- 2 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。
- 3 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

作業台を位置につける

- 1 ブーム機能速度コントローラを任意の速度に設定します。

注記：走行およびステアリング機能は、ブーム機能速度コントローラに影響されません。

- 2 ペダルスイッチを踏みます。
- 3 操作パネルのマークに従って、適切なトグルスイッチを動かします。

操作手順

操舵

- 1 ペダルスイッチを踏みます。
- 2 操舵輪を、走行コントロールハンドルの先端にあるサムロッカースイッチで回します。

作業台操作と走行シャーシの色別された三角方向マークで、タイヤの向く方向を確認してください。

走行

- 1 ペダルスイッチを踏みます。
- 2 速度を上げるには、次の操作を行います。走行コントロールハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げるには、次の操作を行います。走行コントロールハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止するには、次の操作を行います。走行コントロールハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシの色分けされた方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

ブームが上昇あるいは伸長した状態での走行速度は制限されています。

バッテリー状態は機械の性能に影響します。

傾斜面における走行

機械に対する上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。



最大定格勾配、カウンターウェイト上り勾配（登坂能力）：
Z-34/22N: 35% (19°)
Z-34/22 DC: 30% (17°)



最大定格勾配、カウンターウェイト下り勾配：20% (11°)



最大定格横勾配：25% (14°)

注記：定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。登坂能力という用語は、カウンターウェイトが上り坂にある構成の場合にのみ適用されます。

ブームが水平より低く、作業台が非操舵輪の間にあることを確認します。

傾斜勾配の確認

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なものは以下のとおりです。

水準器

最低 1 m の長さの真っ直ぐな木片

巻尺

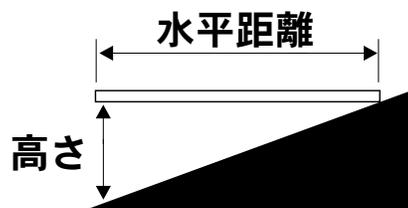
傾斜面の上に木片を置きます。

下り傾斜の一番下で、木片の上端に水準器を置いた後、木片が水平になるまでその端を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離（高さ）を木片の長さ（水平距離）で割り、その数値に 100 を掛けます。

例：



木片の長さ = 3.6 m

水平距離 = 3.6 m

高さ = 0.3 m

$0.3 \text{ m} \div 3.6 \text{ m} = 0.083 \times 100 = 8.3\%$ 勾配

上りまたは下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き上げるか、または傾斜のない場所に運ぶ必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

走行機能

表示ランプがオンになると、ブームが非ステアリングタイヤを超えて移動し、走行機能が妨げられたことを意味します。



走行するには、走行機能スイッチを上か下に動かしたままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

走行コントロール ハンドルおよび操舵コントロール ハンドルの方向とは反対の方向に機械が動く場合があるので、注意してください。

必ず作業台操作と走行シャーンの色分け矢印で、機械の進む方向を確認してください。

低圧遮断（搭載している場合）

低圧遮断オプション付きの機械は、バッテリーが低下すると、作業台から主ブームと補助ブームの上昇機能が使用できなくなります。

操作手順

傾斜表示ランプ

ANSI、CSA および AUS モデル：

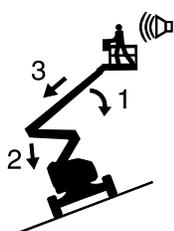
機械が水平でない場合にランプが点灯します。このランプが点灯している間、傾斜アラームが鳴ります。斜面上におけるブームの状態が、以下のどれに当てはまるかを判断してください。安定した固い水平な地面に移動する前に、手順に従ってブームを下げてください。作業台の下降中は、ブームを旋回しないでください。



CE モデル：作業台が上昇しているときに傾斜アラームが鳴る場合には、機械の非水平表示ランプが点灯し、一方向または両方向への走行機能は作動しません。斜面上におけるブームの状態が、以下のどれに当てはまるかを判断してください。安定した固い水平な地面に移動する前に、手順に従ってブームを下げてください。作業台の下降中は、ブームを旋回しないでください。

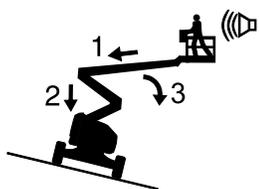
すべてのモデル：作業台が上り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、次の操作を行います。

- 1 主ブームを下降します。
- 2 補助ブームを下降します。
- 3 主ブームを収縮します。



作業台が下り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

- 1 主ブームを収縮します。
- 2 補助ブームを下降します。
- 3 主ブームを下降します。



作業台過負荷表示ランプ (搭載されている場合)



作業台に負荷がかかりすぎている場合にランプが点滅します。すべての機能が作動しません。

ランプが消えるまで、作業台にかかっている重量を減らしてください。

航空機保護パッケージ (搭載されている場合)

作業台バンパーが航空機コンポーネントに接触すると、機械が停止してすべての機能が作動しなくなります。

- 1 エンジンを始動させます。
- 2 ペダルスイッチを踏みます。
- 3 航空機保護優先スイッチを動かしてそのままにします。
- 4 適切な機能コントロールハンドルまたはトグルスイッチを動かして、機械を航空機コンポーネントから離してください。

落下防止

この機械を操作する際、落下防止装置 (PFPE) の着用が必要です。

すべての PFPE は、適用した法規に準拠したものでなければならず、PFPE 取扱説明書の指示に従って検査して使用してください。

使用後の注意

- 1 安定した平坦な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。
- 2 ブームを収納位置まで下降します。
- 3 ブームが非操舵ホイールの間にくるように、ターンテーブルを旋回させます。
- 4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。
- 5 バッテリーを充電します。

操作手順

**バッテリーおよび充電器の操作手順****必ず以下に従うこと。**

- ☑ 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。
- ☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。
- ☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。
- ☑ Genie 承認のバッテリーと充電器のみを使用してください。

バッテリーの充電

- 1 充電前にバッテリーが接続されていることを確認します。
- 2 バッテリーのコンパートメントを開きます。充電中はコンパートメントを開いたままにします。

メンテナンス不要のバッテリー

- 1 接地されている AC 回路に充電器を接続します。
- 2 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。

標準バッテリー

- 1 バッテリー通気孔のキャップを外し、バッテリー液の量を確認します。必要に応じて、プレートが隠れる程度に蒸留水を入れます。充電の前には液を入れすぎないでください。
- 2 バッテリー通気孔のキャップを再び取り付けます。
- 3 接地されている AC 回路に充電器を接続します。
- 4 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。
- 5 充電の終了後、バッテリー液の量を確認します。必要に応じてバッテリー チューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

- 1 バッテリー通気孔のキャップを外し、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。
- 2 それぞれのセルに、プレートが隠れる程度にバッテリー液（電解液）を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、満タンまで入れないでください。入れすぎると、充電中にバッテリー液があふれることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

- 3 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。
- 4 バッテリーを充電します。
- 5 充電の終了後、バッテリー液の量を確認します。必要に応じてバッテリー チューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

輸送およびリフトの手順



必ず以下に従うこと。

- ☑ 輸送車両は平坦な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せる際は、輸送車両が動かないように固定してください。
- ☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。
- ☑ ブレーキを解除する場合は、必ず機械を平坦な地面で停止する、または固定してから行ってください。
- ☑ 機械の定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。
- ☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を超える場合、機械の積み下ろしの際には指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

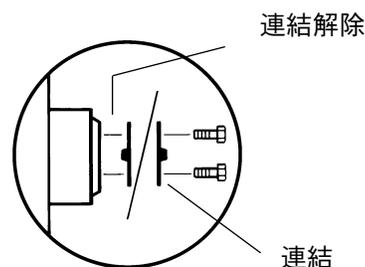
ウィンチ用のフリーホイール設定

- 1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。
- 2 トルクハブ取外しキャップを回して、非操舵輪のブレーキを解除します（下記を参照してください）。
- 3 走行シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

機械が積載された後に、以下を行います。

- 1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。
- 2 トルクハブ取外しキャップを回して、非操舵輪にブレーキをかけます（下記を参照してください）。

Genie Z-34/22 または Genie Z-34/22N の牽引は推奨しません。牽引しなければならない場合は、時速 3.2 km を超えないでください。



輸送およびリフトの手順

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

輸送する場合は必ず前もって機械に輪止めをかましてください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

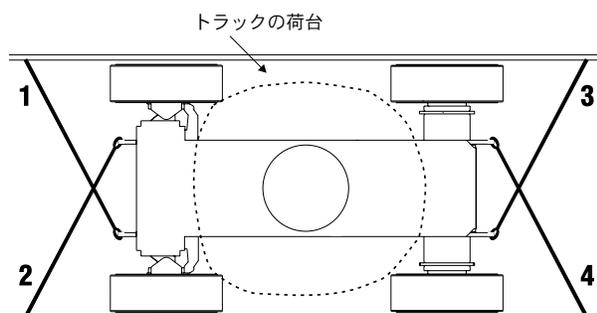
シャーシの固定

シャーシの荷締め位置を使って輸送車両へ固定してください。

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えるものを使用してください。

チェーンを最低 4 本使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、装具を調節してください。

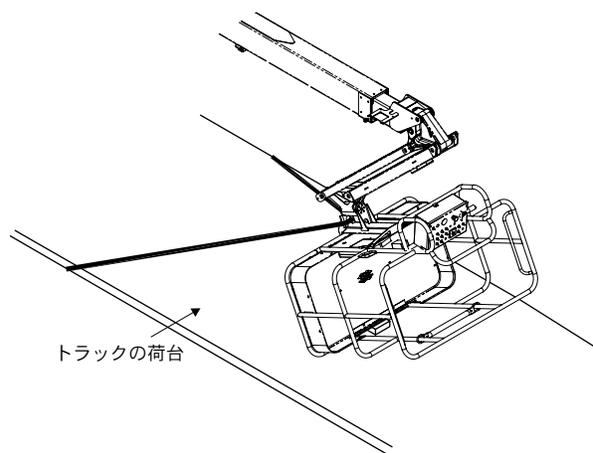


作業台の固定

ジブと作業台が収納された状態であることを確認してください。

作業台出入口下の作業台端の下にブロックを置きます。

作業台回転位置付近の作業台マウントにナイロンストラップを掛けて、作業台を固定してください（下図を参照）。ブーム部分を固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。



輸送およびリフトの手順



必ず以下に従うこと。

- ☑ 機械の組み立ておよび持ち上げを行うときは、必ず認定されている整備工が行ってください。
- ☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

リフトの手順

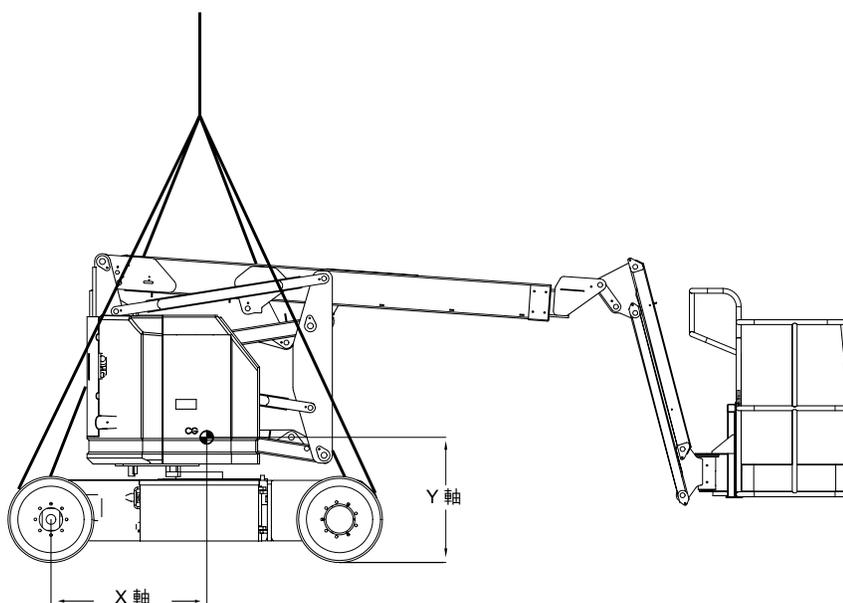
ブームを完全に下げて収縮します。ジブを完全に下げます。機械の緩んでいる箇所はすべて取り外してください。

このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

機械の指定の吊り上げ点にのみ装具を取り付けます。シャーシには、吊り上げ点が4箇所あります。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、装具を調節してください。

モデル	Z-34/22	Z-34/22N
X 軸	74.6 cm	86.3 cm
Y 軸	98.6 cm	81.2 cm



ステッカー

警告用語付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

Part No.	Decal Description	Quantity
27564	Danger - Electrocution Hazard	2
28161	Warning - Crushing Hazard	3
28164	Notice - Hazardous Materials	1
28165	Notice - Foot Switch	1
28171	Label - No Smoking	1
28174	Label - Power to Platform, 230V	2
28175	Caution - Compartment Access	1
28176	Notice - Missing Manuals	1
28177	Warning - Platform Rotate	2
28181	Warning - No Step or Ride	1
28235	Label - Power to Platform, 115V	2
28236	Warning - Failure To Read . . .	1
28372	Caution - Component Damage	2
31060	Danger - Tip-over Hazard, Interlock	4
31508	Notice - Power to Charger	1
31784**	Notice - Tire Specifications, Z-34/22 DC	4
31785	Notice - Battery Charger Instructions	2
31788	Danger - Battery/Charger Safety	2
32728	Label - Inverter Option Patch	1
35542	Notice - Tire Specifications, Z-34/22N	4
37052	Notice - Maximum Load, 500 lbs / 227 kg	1
37053	Arrow - Blue	1
37054	Arrow - Yellow	1
37055	Triangle - Blue	2
37056	Triangle - Yellow	2
40299	Notice - Battery Connection Diagram	2
40300	Danger - Tip-over, Batteries	2
40434	Label - Lanyard Anchorage	2

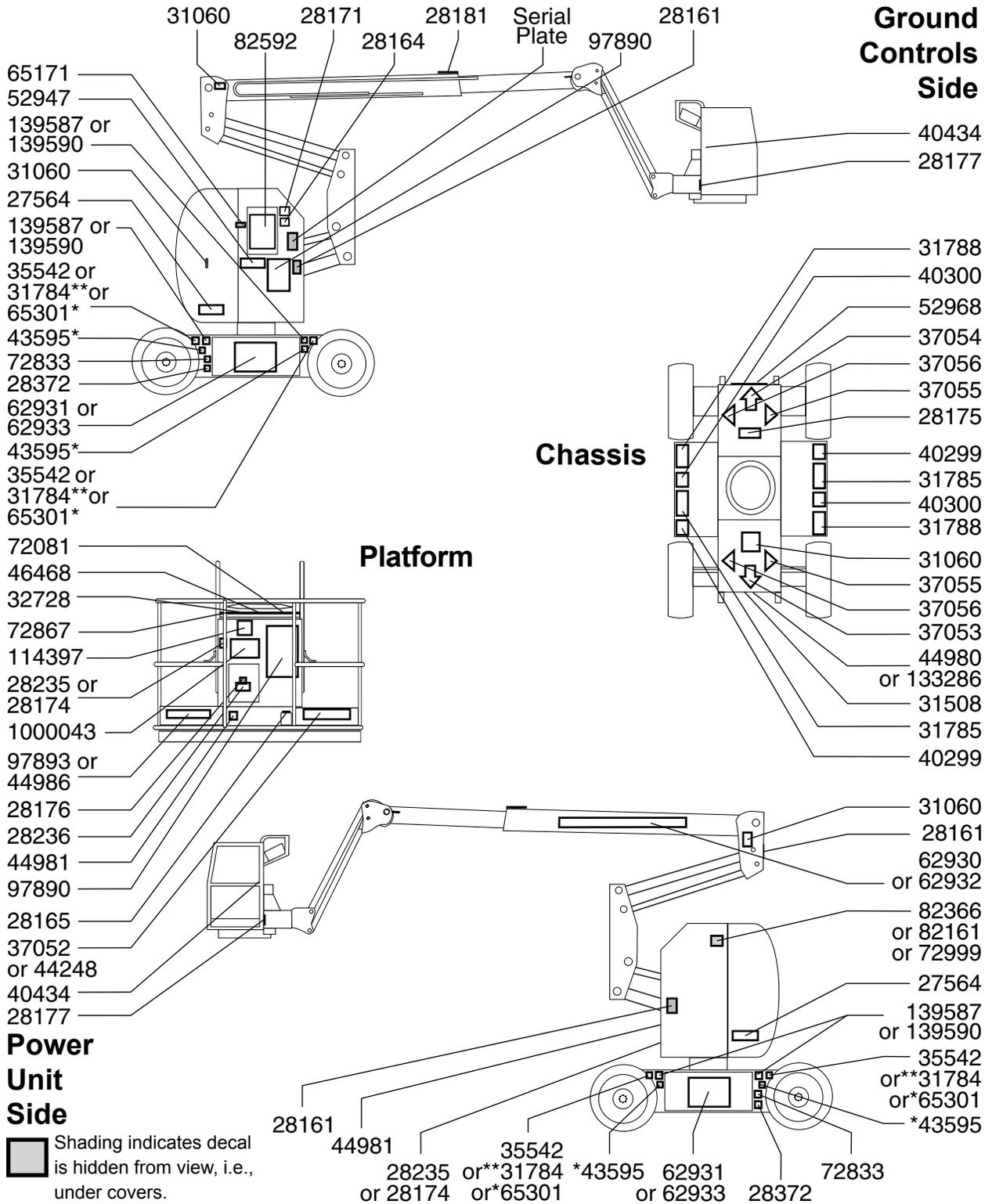
Part No.	Decal Description	Quantity
43595*	Danger - Tip-over Hazard, Tires (Z-34/22 DC only)	4
44248	Label - Maximum Capacity, 440 lbs (Aircraft Protection Package)	1
44980	Label - Power to Charger, EE	1
44981	Label - Air Line to Platform	2
44986	Notice - Max Manual Force, 90 lbs / 400 N	1
46468	Label - Function Override (Aircraft Protection Package)	1
52947	Notice - Operating Instructions, Ground	1
52968	Cosmetic - Genie Boom	1
62930	Cosmetic - Genie Z-34/22	1
62931	Cosmetic - Genie Z-34/22 DC Power	2
62932	Cosmetic - Genie Z-34/22N	1
62933	Cosmetic - Genie Z-34/22N	2
65171	Label - Circuit Breaker & Status Light	1
65301*	Notice - Tire Specifications, Z-34/22 DC	4
72081	Platform Control Panel	1
72833	Label - Open	2
72867	Label - Work Lights Option Patch	1
72999	Label - Environ MV46	1
82161	Label - UCON Hydrolube, HP-5046	1
82366	Label - Chevron Rando	1
82592	Ground Control Panel	1
97890	Danger - Safety Rules	2
97893	Notice - Max Side Force, 150 lbs / 667 N	1
114397	Danger - Tilt-Alarm	1
133286	Label - Power to Charger, Universal	1
139587	Label - Wheel Load, Z-34/22 DC	4
139590	Label - Wheel Load, Z-34/22N	4
1000043	Notice - Operating Instructions, Platform	1

* Australia market only

** ANSI market only



ステッカー



Genie
A TEREX COMPANY

ステッカー

シンボル付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

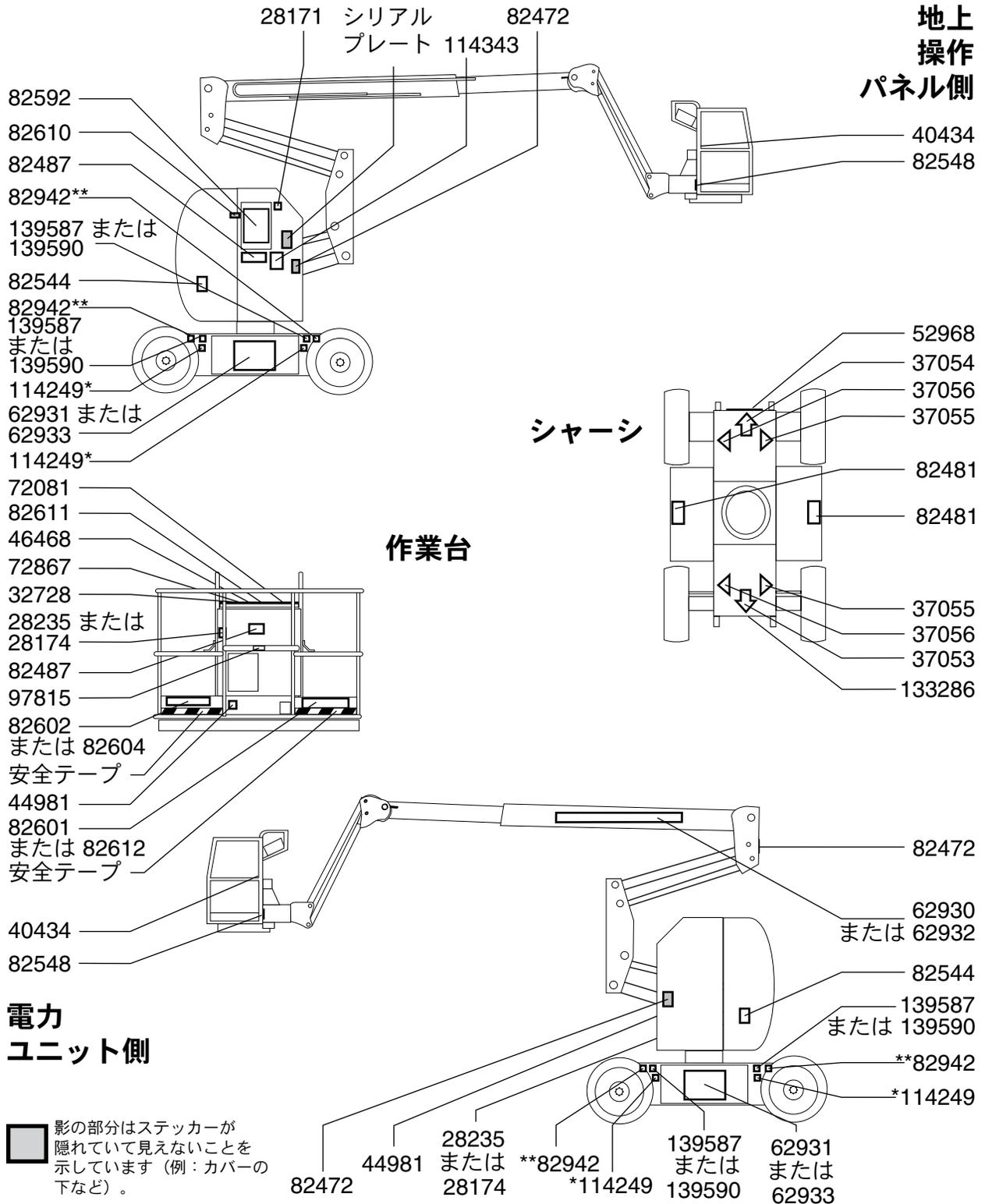
品番	ステッカーの説明	数量
28171	ラベル - 禁煙	1
28174	ラベル - 作業台への電力、230V	2
28235	ラベル - 作業台への電力、115V	2
32728	ラベル - 変換器オプションパッチ	1
37053	矢印 - 青	1
37054	矢印 - 黄	1
37055	三角 - 青	2
37056	三角 - 黄	2
40434	ラベル - 安全帯固定箇所	2
44981	ラベル - 作業台への空気管	2
46468	ラベル - 機能優先 (航空機保護パッケージ)	1
52968	外装 - Genie Boom	1
62930	外装 - Genie Z-34/22	1
62931	外装 - Genie Z-34/22 DC Power	2
62932	外装 - Genie Z-34/22N	1
62933	外装 - Genie Z-34/22N	2
72081	作業台操作パネル	1
72867	ラベル - 作業場ランプオプションパッチ	1
82472	警告 - 手のケガの危険	3

品番	ステッカーの説明	数量
82481	危険 - バッテリーの安全	2
82487	ラベル - 操作手順	2
82544	危険 - 感電の危険	2
82548	警告 - 作業台旋回	2
82592	地上操作パネル	1
82601	危険 - 最大積載量、227 kg	1
82602	危険 - 最大側方圧、667 N	1
82604	危険 - 最大側方圧、400 N	1
82610	ラベル - 回路ブレーカー & 状態ランプ	1
82611	ラベル - 走行機能パッチ	1
82612	ラベル - 最大積載量 200 kg (航空機保護パッケージ)	1
82942**	ラベル - タイヤ圧、(Z-34/22 DC のみ)	4
97815	ラベル - 中間レールを下げる	1
114249*	危険 - 転倒の危険、タイヤ (Z-34/22 DC のみ)	4
114343	ラベル - 緊急下降	1
133286	ラベル - 充電器への電力	1
139587	ラベル - 輪荷重、Z-34/22 DC	4
139590	ラベル - 輪荷重、Z-34/22N	4

* CE 市場のみ

** ANSI 市場のみ

ステッカー



仕様

Z-34/22N	
高さ、操作時最大	12.5 m
高さ、作業台最大	10.5 m
高さ、収納時最大	2 m
水平到達距離最大	6.8 m
幅	1.5 m
高さ、収納時	5.7 m
作業台最大積載荷重量	227 kg
最大風速	12.5 m/秒
ホイールベース	1.9 m
旋回半径 (外側)	4.1 m
旋回半径 (内側)	2.1 m
地上高さ	12.7 cm
ターンテーブル旋回角度 (度)	355°
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	0
電源	8 グループ 902、J305、 6V 315AH バッテリー
走行速度、最高	
ブーム収納時	6.4 km/時 12.2 m/6.8 秒
ブーム 上昇または延長時	1.0 km/時 12.2 m/40 秒
コントロール	24V DC 比例
作業台寸法、(高さ x 幅)	1.42 m x 76 cm

作業台水平	自動水平維持	
作業台旋回 (度)	160°	
作業台 AC コンセント	標準	
油圧、最大 (ブーム機能)	193 バール	
システム電圧	48V	
タイヤサイズ、ソリッドラバー	22 x 7 x 17 ³ / ₄ in	
ハンド/アームシステムが対象となる総振動値は 2.5 m/秒 ² を超過しません。		
本体全体が対象となる補正加速度の最高二乗平均平方根 値は 0.5 m/秒 ² を超過しません。		
重量	シリアルプレートを参照 (機械の重量は、オプション構成により異なります)	
最大勾配の定格値、収納状態		
カウンターウェイト上がり傾斜	35%	19°
カウンターウェイト下り勾配	20%	11°
横勾配	25%	14°
注記: 定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。		
機械による騒音		
地上作業場での音圧レベル	< 70 dBA	
作業台での音圧レベル	< 70 dBA	
床荷重表		
タイヤ最大輪荷重	2926 kg	
タイヤ接地圧 (タイヤごと)	7.24 kg/cm ² 710 kPa	
車体使用面積当りの圧力	14.75 kPa 1504 kg/m ²	
注記: 床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の 違いを考慮したものではありません。安全上の要素を 考慮して使用してください。		

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針として
しています。このため製品の仕様を予告なく変更
することがあります。

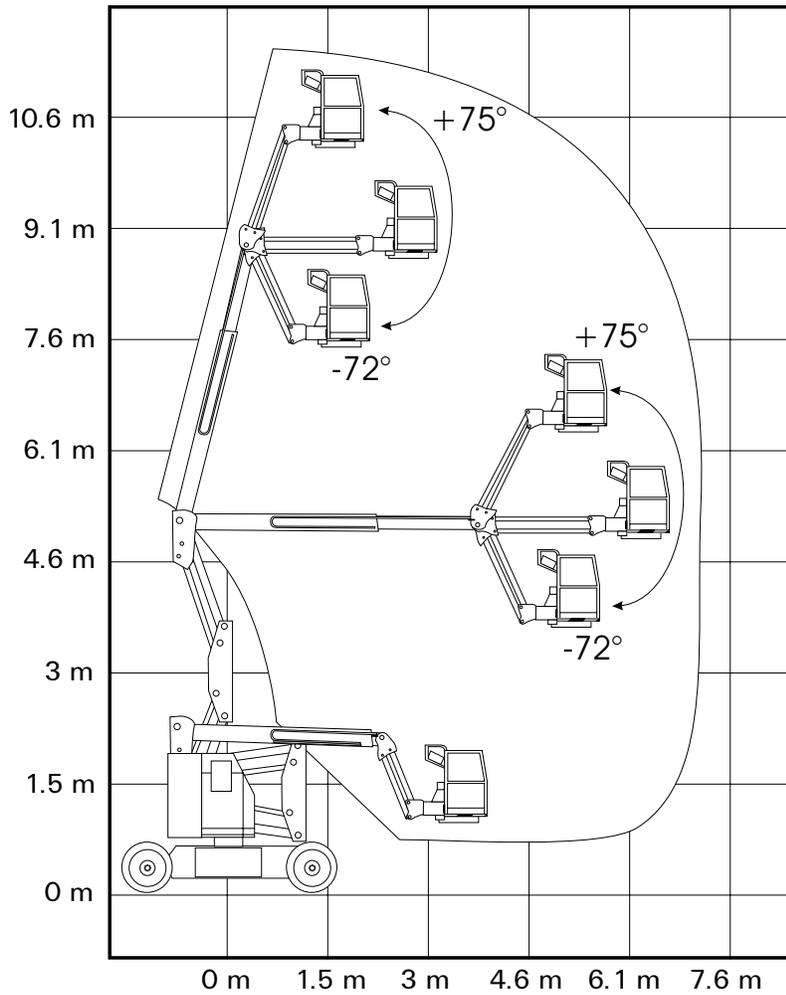
仕様

Z-34/22			
高さ、操作時最大	12.5 m	作業台水平	自動水平維持
高さ、作業台最大	10.5 m	作業台旋回 (度)	160°
高さ、収納時最大	2 m	作業台 AC コンセント	標準
水平到達距離最大	6.8 m	油圧、最大 (ブーム機能)	193 バール
幅	1.7 m	システム電圧	48V
高さ、収納時	5.6 m	タイヤサイズ、ANSI	サイズ 9-14.5 LT
作業台最大積載荷重量	227 kg	タイヤサイズ、CE およびオーストラリア フォームタイヤのみ	9-14.5
最大風速	12.5 m/秒	ハンド/アームシステムが対象となる総振動値は 2.5 m/秒 ² を超過しません。	
ホイールベース	1.9 m	本体全体が対象となる補正加速度の最高二乗平均平方根 値は 0.5 m/秒 ² を超過しません。	
旋回半径 (外側)	4 m	重量 シリアルプレートを参照 (機械の重量は、オプション構成により異なります)	
旋回半径 (内側)	1.8 m	最大勾配の定格値、収納状態	
地上高さ	15 cm	カウンターウェイト上がり傾斜	30% 17°
ターンテーブル旋回角度 (度)	355°	カウンターウェイト下り勾配	20% 11°
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	0	横勾配	25% 14°
電源	8 グループ 902、J305、 6V 315AH バッテリー	注記：定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦に より異なります。	
走行速度、最高		機械による騒音	
ブーム収納時	6.4 km/時 12.2 m/6.8 秒	地上作業場での音圧レベル	< 70 dBA
ブーム 上昇または延長時	1.0 km/時 12.2 m/40 秒	作業台での音圧レベル	< 70 dBA
コントロール	24V DC 比例	床荷重表	
作業台寸法、(高さ x 幅)	1.42 m x 76 cm	タイヤ最大輪荷重	2654 kg
		タイヤ接地圧 (タイヤごと)	7.03 kg/cm ² 689 kPa
		車体使用面積当りの圧力	11.44 kPa 1167 kg/m ²
		注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成 の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を 考慮して使用してください。	

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針として
しています。このため製品の仕様を予告なく変更
することがあります。

仕様

動作範囲



Genie Scandinavia

Tel. +46 31 575100
Fax +46 31 579020

Genie France

Tel. +33 (0)2 37 26 09 99
Fax +33 (0)2 37 26 09 98

Genie Iberica

Tel. +34 93 579 5042
Fax +34 93 579 5059

Genie Germany

Tel. +49 (0)4202 88520
Fax +49 (0)4202 8852-20

Genie U.K.

Tel. +44 (0)1476 584333
Fax +44 (0)1476 584334

Genie Mexico City

Tel. +52 55 5666 5242
Fax +52 55 5666 3241

Genie North America

Tel. 425.881.1800
フリー 米国およびカナダ
ダイヤル 800.536.1800
Fax 425.883.3475

Genie Australia Pty Ltd.

Tel. +61 7 3375 1660
Fax +61 7 3375 1002

Genie China

Tel. +86 21 53852570
Fax +86 21 53852569

Genie Malaysia

Tel. +65 98 480 775
Fax +65 67 533 544

Genie Japan

Tel. +81 3 3453 6082
Fax +81 3 3453 6083

Genie Korea

Tel. +82 25 587 267
Fax +82 25 583 910

Genie Brasil

Tel. +55 11 41 665 755
Fax +55 11 41 665 754

Genie Holland

Tel. +31 183 581 102
Fax +31 183 581 566

代理店